



厳寒の爪あと 凍上災 (とうじょうさい)

1 凍上災とは？

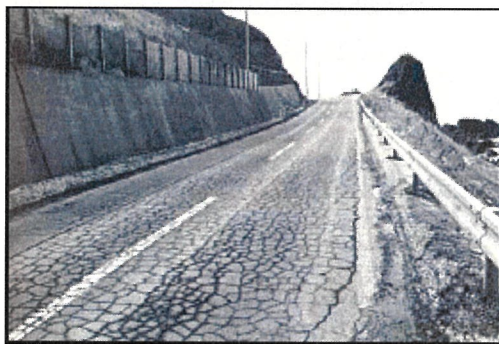
凍上災とは、厳しい寒さが原因で道路舗装面にひび割れなどが発生する災害です。
(写真参照)

岩手県は、ここ 30 年で最も長く寒い冬に見舞われ、昨年 12 月には、月平均気温が歴代最低記録を更新し、1 月も平年より寒い状態が続きました。

2 月に入ってからは平年並みに落ち着きましたが、県内の気象観測地点 33 地点のうち 30 地点では、この 3 ヶ月間に真冬日が平年の日数を超えました。また、盛岡では、真冬日が 36 日となり、盛岡気象台の観測史上 3 番目を記録する寒い冬になりました。

このため、国道をはじめ、県道、市町村道のいたるところで凍上による災害を起こし、舗装面には隆起やひび割れが発生しました。

凍上災が発生したことにより、道路舗装面に凹凸ができたり、ひび割れた舗装の一部がはがれるなど通行に支障をきたす恐れがでてきました。



舗装面の亀甲状クラック



舗装面の盛り上がり、沈下

凍上現象による災害には、2 つの種類があります。

- 1 冬期の低温によって道路の地盤中に大きな霜柱が発生し地面が隆起することにより、道路面にひび割れなどが発生する被害。
- 2 春の融解期に起こる道路地盤の支持力低下により、道路舗装面に局所的な沈下と亀甲状のひび割れが発生する被害。

凍上災の採択要件

今冬の低温により被害を受けた都道府県または市町村が管理する道路のうち、以下の要件を満たす箇所が災害復旧事業の対象となります。

- 1 被害のあった地域における 今冬の凍結指数※1 が、10 年確率凍結指数※2 を超えていること。 ◆当県では、アメダス 33 観測地点のうち 16 観測地点が該当しました。
- 2 対象となる道路は、幅員が 2m 以上かつアスファルト厚 3cm 以上の舗装道路とする。

※1：日平均気温が 0℃以下の期間における日平均気温の累積で表した数値で舗装する厚さを決定する基礎資料となります。

※2：10 年確率凍結指数とは、10 年に一度起こるであろう凍結指数です。

2 凍上災の復旧作業

◆災害報告箇所数と被災額

各地方振興局及び市町村から提出された被災箇所の概要や写真資料等を取りまとめ、6月30日に国土交通省河川局防災課に災害報告を行いました。

- 1) 県工事分 454箇所、約 90億円
- 2) 市町村分 501箇所、約 89億円
- 3) 合計 955箇所、約 179億円



平成18年2月 盛岡市飛鳥



平成18年2月 大槌町金沢

◆9月から災害査定が始まります。

災害復旧作業は、国の負担で対応されるため、国土交通省と財務省からそれぞれ査定官、立会官が被災現地に赴き、災害の状況を査定し、工事費が決定されます。

被災した道路の長さは、のべ約700kmで、測量、写真撮影、査定等は全て徒歩で行います。規模が大きいため、査定作業は、9月上旬から10月中旬までの間、職員が、8～9班体制で行います。

査定の作業中は、ドライバーの皆さんをはじめ、道路の通行上ご不便をおかけすることもあります。ご理解とご協力をお願いします。

査定作業が終了し、実際の復旧工事が始まるのは、11月頃からになります。

問い合わせ先

砂防災害課 TEL019-629-5921

